

交渉の議事要旨

課所名等	開催日時	開催場所	出席者		議題	発言概要	配付された文書等
			当局	職員団体			
網走道路事務所	平成26年8月8日(金) 17:25～17:35(10分間)	網走道路事務所 小会議室	網走道路事務所 所長 杉本 公一 総務課長 村上 均	全北海道開発局労働組合網走支部 網走道路分会 執行委員長 山谷 圭司 書記長 高須 敏裕	・当事務所における超過勤務の縮減について ・当事務所におけるパワーハラスメントが行われない職場環境の整備について	○職員団体側から ・特定の職員に業務が集中しないよう、適正な業務配分や更なる超過勤務の縮減に努めてもらいたい。 ○当局側から ・特定の職員に業務が集中することのないよう、業務配分の見直しや平準化を図ってきたところである。今後ともきめ細かな業務の進行管理を行い、超過勤務の縮減に努めていきたい。 ○職員団体側から ・パワーハラスメントが行われない職場環境の整備に努めてもらいたい。 ○当局側から ・パワーハラスメントに関する問題意識を持ち、良好な職場環境づくりに努めていきたい。	なし
契約課	平成26年9月3日(水) 17:30～17:48(18分間)	入札室	契約課 課長 小林 智也	全北海道開発局労働組合網走支部 契約課分会 執行委員長 峰村 多佳子 執行委員 鈴木 功久	・当課における超過勤務の縮減について ・当課職員のメンタルヘルスに関する復職支援等の推進について ・当課におけるパワーハラスメントが行われない職場環境の整備について ・当課における育児休業等取得しやすい職場環境の整備について	○職員団体側から ・超過勤務の縮減方策について聞きたい。 ○当局側から ・きめ細かな業務の進行管理を行い、職場ミーティング等を活用して職員の意見も取り入れながら、超過勤務の縮減に努めていきたい。 ○職員団体側から ・心の不調を原因として療養する職員が発生しないよう、職員への配慮を求める。 ○当局側から ・職員とコミュニケーションをよくとるとともに、職員の勤務状況及び健康状態の把握に十分注意を払っていきたい。 ○職員団体側から ・パワーハラスメントが行われない職場環境の整備に努めてもらいたい。 ○当局側から ・職員とのコミュニケーション強化を図り、良好な職場環境づくりに努めていきたい。 ○職員団体側から ・育児休業からの復帰支援策を講じてもらいたい。 ○当局側から ・育児休業からの職場復帰に当たっては、業務分担に配慮するとともに、応援体制についても検討していく考えである。	なし

課所名等	開催日時	開催場所	出席者		議題	発言概要	配付された 文書等
			当 局	職員団体			
経理課	平成26年9月5日(金) 17:20～18:14(54分間)	第4会議室	経理課 課長 宮崎 祐治 課長補佐 中村 一成	全北海道開発局労働組合網走支部 経理課分会 執行委員長 能藤 靖 書記長 岡崎 睦 執行委員 安達 智幸	<ul style="list-style-type: none"> ・当課における超過勤務の縮減について ・当課職員のメンタルヘルスに関する復職支援等の推進について ・当課におけるパワーハラスメントが行われない職場環境の整備について ・当課における育児休業等を取得しやすい職場環境の整備について 	<ul style="list-style-type: none"> ○職員団体側から ・決算時期は業務が集中し繁忙となる。更なる超過勤務の縮減に努めてもらいたい。 ○当局側から ・超過勤務の要因を分析し、職場ミーティング等を活用して職員の意見も取り入れながら、超過勤務の縮減に努めていきたい。 ○職員団体側から ・心の不調を原因として療養する職員が発生しないよう、職員への配慮をお願いする。 ○当局側から ・日頃から目配り・気配りを行い、職員の健康状態の把握に努めていきたい。 ○職員団体側から ・パワーハラスメントが行われない職場環境の整備に努めてもらいたい。 ○当局側から ・職場内ミーティング等において、パワーハラスメントの防止について周知啓発を行い、良好な職場環境づくりに努めていきたい。 ○職員団体側から ・育児休業を取得しやすい職場環境に努めてもらいたい。 ○当局側から ・両立支援制度の情報提供を行うとともに、適切な業務の進行管理を行って超過勤務の縮減に努めるなど、制度を活用しやすい職場環境づくりに努めていきたい。 	なし